

# 「第74回近畿高等学校弓道大会」結果報告

## 決勝トーナメント(ベスト8)進出も…

### 優勝校(報徳学園)に完敗…

7月17日(土)・18日(日)兵庫県立弓道場において、「第74回近畿高等学校弓道大会」が行われました。本校からは、男子個人戦に2名と男子団体戦に出場します。

#### ■7月16日(金)公開練習

コロナ対策で公開練習も地域ごとに分散実施となり、大阪は13時からわずか30分間の割り当てとなりました。そのため、学校で少し練習してから出発することにしました。明石駅の目の前の明石公園内の弓道場だったので近くだと思っていたのですが、歩いて20～30分かかりました。炎天下の中、荷物を持っての移動はめちゃくちゃしんどかったです。公開練習は、時間は短かったが人数も制限されていたためしっかり調整することができました。

#### ■7月17日(土)個人戦

17日は個人戦となります。本校からは、2年の佐々木と奥田が出場します。コロナ対策で、個人戦出場する選手以外は会場に入れないため、その他の団体メンバーは一旦学校に戻って少し練習することになりました。個人戦は2立8射5中以上で予選通過、その後射詰競射となります。佐々木はずっと調子が上がりず心配ですが、奥田はいい感じで調整できているので上位入賞を狙えるのではと期待しています。結果は、佐々木は残念な結果となりました。奥田も1立目3中といい立ち上がりでしたが、2立目に1中と崩れ、予選通過できませんでした。2人とも悔しい結果となりましたが、明日の団体戦に向けて気持ちを切り替えました。

#### ■7月18日(日)団体戦 予選

団体戦は1立の一発勝負で、上位8校が決勝トーナメントに進出します。今回は「決勝トーナメント進出」が最低目標です。本校は2年華田、奥田、佐々木、3年春田、横山、控え2年山下で挑みます。毎回この予選が一番緊張感があります。予選の立順は各府県1位校からとなります。インターハイ出場を決めている学校でさえ雰囲気にもまれ崩れていき、重苦しい雰囲気での後の学校も的中が伸びません。本校は大阪3位ですので最後の方の立順となります。本校が立に入るところには、20射9中から10中が予選通過ラインとなりそうな状況となりました。そんな中本校は、前半の2本目(団体で10本)までは緊張感にもまれ3中と崩れました。「もうダメか…」と諦めかけましたが、後半盛り返します。個人戦不振だった佐々木が3中と活躍し、3年生の春田、横山が勝負を決める最後の4本目を見事的中させ、後半10射を7中と踏ん張り、合計20射10中として見事決勝トーナメント進出を決めました。

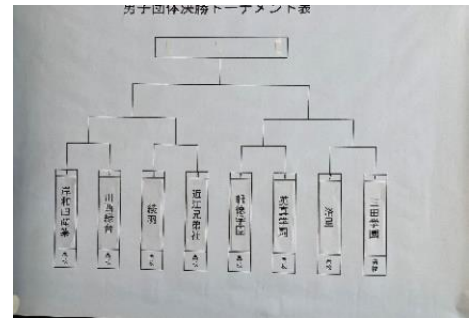


## ■7月18日(日)団体戦 決勝トーナメント

決勝トーナメント1回戦(準々決勝)の相手は、予選1位の報徳学園(兵庫)と決まりました。他校がコロナ禍での練習不足や独特の緊張感で的中が伸びない中、報徳学園だけが予選16中と飛び抜けていました。これだけの高レベルの学校との真剣勝負はなかなか経験できないので、組み合わせが決まったときはとてもうれしかったです。どこまで食らいつけるか楽しみです。

1本目両校とも5射4中、2本目報徳5中、英真3中で前半は報徳学園10射9中、英真学園7中となんとか食らいついていきました。しかし、報徳学園は残り10射10中とし、合計なんと20射19中という高的中でした。本校もなんとか頑張りましたが、合計20射12中で完敗でした。今の実力差ではこの結果も致し方ありません。負けはしましたが、応援している方もとても楽しかったです。本当によく頑張りました。(報徳学園はその後も他校を圧倒して優勝しました。)

3年生の春田、横山は、これで一区切りです。いろいろしんどい時期もありましたが、最後まで頑張ってくれました。特に、今回の決勝トーナメント進出を決める最後の春田、横山の連続の中は、本当に見事でした。これからは進路決定に向けて頑張ってください。



**『努力した者が成功するとは限らない。**

**しかし、成功する者は皆努力している。』**